

## ゼラスキャットの14

全10口 | 1口200万円 (総額2,000万円)

販売者 社台ファーム 生産 社台ファーム 繋養 社台ファーム

263

Bernardini × ゼラスキャット [メス]



バーナーディニ  
Bernardini  
鹿 2003

メス  
鹿毛

2014.4.18 生

\*ゼラスキャット  
Zealous Cat  
栗 2006

エービーインディ A. P. Indy 黒鹿 1989	Seattle Slew My Charmer	Bold Reasoning
キャララファエラ Cara Rafaela 芦 1993	Weekend Surprise Quiet American	Secretariat Lassie Dear Fappiano
ストームキャット Storm Cat 黒鹿 1983	Oil Fable Storm Bird	Demure Spectacular Bid Northern Fable Northern Dancer South Ocean
トレイルロバリー Trail Robbery 栗 1991	Terlingua Alydar Track Robbery	Secretariat Crimson Saint Raise a Native Sweet Tooth No Robbery Left at Home (13)

### FAMILY 母系

**母の父** ストーム キャット Storm Cat は米国産、北米4勝、ヤングアメリカS-G1。北米チャンピオンサイアー。北米BMSチャンピオン。【BMS: 主な産駒】キズナ(ダービー-G1)、ロードカナロア(年度代表馬、香港スプリント-G1・2回)、アユサン(桜花賞-G1)、ラキシス(エリザベス女王杯-G1)、グレンイーグルズ(英2000ギニー-G1)、シェアドビリーフ(サンタアニタH-G1)

**母** \*ゼラスキャット Zealous Cat (06 Storm Cat)米国産、北米1勝。産駒 **タビキャット** Tapicat (10牝 Tapit)北米4勝、フロリダオックス-G3(芝8.5F)、Voodoo Dancer S(芝7.5F)、Pebbles S-L 2着、ブエナビスタS-G2 3着、レイクジョージS-G2 3着

ジェラスキャット Jealous Cat (11牝 Tapit)北米1勝  
オードゥバンパーク Audubon Park (13牝 Candy Ride)未出走

**祖母** **トレイル ロバリー** Trail Robbery (91 Alydar)北米入着。産駒 **ポヘイヴ** Pohave (驕 Holy Bull)北米5勝、トリプルバンドBC招待H-G1、ロサンジェルスタイムズH-G3、ピングクロスビーBCH-G1 2着、エンシャントタイトルBCH-G1 2着、トゥルー ノースBC H-G2 3着、サンカルロスH-G2 3着

**曾祖母** **トラック ロバリー** Track Robbery (76 No Robbery)米古牝馬チャンピオン、北米22勝、アップルブラッサムH-G1、ヴェニティH-G1、同2着、スピンスターS-G1、サンタアナH-G2、同-G3 2着、ビヴァリーヒルズH-G3、ウイルシャーH-G3、California Jockey Club H、San Gorgonio H、Children's Hospital H、Good Life S、サンタマルガリータ招待H-G1 2着、サンタマリアH-G2 2着、ミレイディH-G2 2着。産駒

**トレイン ロバリー** Train Robbery: 北米8勝、モンマスパークBCH-G3、ハニービーS-G3、Remington Park Oaks-L、Rolling Meadows S、ジョンA.モリスH-G1 2着、ゴーフォーワードS-G1 2着、デラウェアH-G2 2着、モリーピッチャーH-G2 2着。産駒

**キャット シーフ** Cat Thief: 北米4勝、BCクラシック-G1、スワップスS-G1、ブリーダーズフューチュリティ-G2、ホイットニーH-G1 2着、ハスキル招待H-G1 2着。種牡馬  
サンドダラー Sand Dollar: 北米入着。産駒

**ロシアン グリーク** Russian Greek: 北米4勝、California Derby-L、Gold Rush S-L、Carl Hanford Memorial S 3着

### POINT ポイント

4月生まれの牝馬としてはすでに全身に豊富な筋肉が備わっており、とくにトモ周辺の発達が目覚しく、上級のスピード能力を秘めているのは間違いなさそうです。まだ腰高ですので、将来は中型サイズ以上の完成となるでしょう。丸みを帯びた体に対して小振りな頭部の造りには品があり、米クラシックを制した父は初年度産駒からG1勝ちを続け、姉に重賞勝ち馬を持つ本馬への期待は相当高いレベルにあります。放牧地での小気味良いフットワークを見ていると、強靱なバネを感じますので、その潜在能力をいかんなく発揮して、牝馬クラシック路線を堂々と駆け上がって欲しいものです。